

発行：ひとちなか市の環境を良くする会
編集：広報委員会
住所：〒312-0032
ひとちなか市津田 1927-12
会長 渡辺 寛

環境から版

環境四季時計「冬祭り」開催!

1月21日(土)は、冷たい雨が降る寒い日でしたが、環境四季時計「冬祭り」環境シンポジウムの会場は193名の参加者でホットに盛り上がった。

『E₂COとしてるひとちなか』と題して開催し、小・中学校、市民団体、事業所が、日頃の環境活動の取り組みを発表し、その後のパネルディスカッションでは、「環境活動を楽しく続け、広げていくには？」のテーマでパネラーの意見を聴いたり、参加者の質問を受けた。また、アトラクションのエコビンゴでは、環境クイズに答えながらの運だめしに「ビンゴー」と歓声が上がった。

*** 活動発表 ***

勝倉小は、各学年の取り組みを発表。育てたアサガオのつるでリースをつくるなど、自然から学んだ1、2年生。生活を見直し工夫してエコおもちゃ、エコ掃除などに取り組んだ3、5、6年生。ゴミをブレゼントに生まれ変わらせた4年生。「未来は、自分たちでつくりたい」という言葉が印象的だった。

外野小は、身近な場所のCO₂濃度を測定したことを発表。教室内を測定したら屋外よりもCO₂濃度が高く、ストーブを使用するとさらに濃度が高くなることから、教室の換気の必要性に気付いたという。体験の大切さを感じさせられた。

阿字ヶ浦中は、10年目になる自然保護活動について、沢田・スカシユリ研究班が発表。沢田湧水の観察結果や、スカシユリが効率よく育つ条



活動発表する阿字ヶ浦中

件を土や肥料の面から追求した結果など、市民が参考にしたい内容だった。

ひとちなか・市民企画工房は、本誌4コマ漫画「かわらちゃん」に声を入れ、省エネやゴミ削減をPR。目と耳から楽しく伝わってきた。

生活クラブ生協は、容器をくり返し使うグリーンシステムに取り組み、「ミヤCO₂」排出量を削減している実践について発表。実際に使用しているリユースびんを使い

内容が解り易いと好評だった。シナリー 櫻季(株)は、シャンプーや歯磨き剤などに石油系化学物質が使われていることをクイズ形式で知らせ、健康と環境を守るために脱石油の生活をしようと呼びかけた。

*** エコビンゴ ***
環境クイズに正解すると、自分で数字を書いたビンゴカードに○を付け、豪華景品めざして盛り上がった。空気清浄機は小学生が、折りたたみ自転車は中学生がゲットした。参加しながら楽しく環境のことを学び考え、「E₂COとしてるひとちなか」の輪をみんなで広げていきましょう。



エコビンゴの様子

ひとちなか市の環境を良くする会ブログ http://blogs.yahoo.co.jp/hitachinaka_kankyou_yokusuru

～ 会員を募集しています ～

会員を募集しています。市内に在住、通勤、通学している方(個人又は家族)。市内で活動している団体、事業所。
年会費(1口以上) 個人・家族会員500円/口 団体会員1,000円/口 事業所会員2,000円/口

『ひとちなか市の環境を良くする会』は、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にする心を育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。

具体的な活動を計画し実行するのは、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3つの分科会が中心となっています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

活動のよす **ごみ問題分科会**

**いよいよ一般家庭の生ごみ
堆肥化予備試験へ**

昨年为学校給食残渣を使用した、生ごみ堆肥化の実証実験で得られた知識を基に、地域の家庭から出る生ごみの分別、回収と堆肥化の方法を検討するための、モデル事業の予備試験を計画しています。

規模は約30世帯で、生ごみを1ヶ月間の週2回収します。製造場所は昨年同様に那珂湊清掃センター裏手倉庫を予定しています。

昨年の実証試験では、生ごみ、せんだ枝ダスト、鶏糞の配分比を4種類にして、現在、専門機関へ成分分析を依頼しています。

今年は、その分析結果を基に1種



堆肥を成分分析のためサンプリング

類の配合で行う予定です。今後は、対象地区の住民説明会を数回に分けて行い、生ごみの堆肥化



学校給食残渣からできた堆肥

にご理解とご協力といただけるよう励みたいと思います。

単に1ヶ月間の期間とは申せ、週2回の回収と堆肥製造場所での受け入れ、その後、数ヶ月続く堆肥の切り返し、水分調整、温度管理など毎月数回の手入れが必要となります。楽しくもあり、きつくもある生ごみ堆肥化の取組ですが、ひたちなか市の資源循環型社会の一つの火が灯ればうれしい限りです。

この取組に参加・協働していただける方を大募集中です。市民の皆様参加をお待ちしております。

(連絡先・北島分科会長)
Tel 274-0146

活動のよす **温暖化防止分科会**

知ってほしい温暖化防止

食材の輸送にかかると、エネルギーを考えていただくことを目的としたフードマイレージ講座ですが、福島第一原発事故による地産食材の放射能の影響を鑑み、地産地消の考え方を、どのように講座へ反映していくのか討議をしています。また、地域で活動しているグループとの意見交換で、より良い講座となるよう努力しています。その一環として、生産者は放射能の影響をどのように見ているかを知るため、元ひたちなか農業協同組合代表理事の先崎千尋氏



食と地球温暖化の講話をする先崎氏

を講師に、ミニ学習会を実施し震災後の考え方などを勉強しました。

1月13日勝田駅東口・西口で冬の温暖化防止街頭キャンペーンを実施しました。皆さんに節電をご協力い

フードマイレージ講座

昨今の状態では、年間を通じて節電が必要となっています。分科会委員がワットチェッカー(消費電力量計測器)を活用し節電効果を体験しました。体験を基に手法をまとめ、市がワットチェッカー貸出時に活用していただけるチラシを作成することを考えていきます。

今後は、温暖化防止をどのように市民の皆さんがご理解していただけるかを考えながら、見える活動として節電・省エネなどを啓発していきます。



市で貸出しているワットチェッカー

ただけなら、冬の省エネチラシとホッカイロなどを配布しました。

活動のよす
自然環境分科会

風致地区の環境整備活動



風致地区の環境整備

1月28日(土)に、美田多の風致地区内の竹林整備を実施しました。当日は好天に恵まれ、水戸森林クラブの4名、リコーシヤパン(株)の21名を含め総勢37名での活動でした。傾斜地底部に通る山道がきれいになり、光が通って清々しい気持ちになりました。これで本年度予定の約40%を整備できました。終了後は、おにぎりと豚汁、地主さんからの沢庵をおいしくいただきました。今後、自然の里山を守っていきたいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。なお、今回の刈り取った竹や、春に生える筍は自由に掘って持ち帰れますので、興味のある方はご連絡ください。

多良崎城跡公園の篠刈り

昨年2月20日(土)、4月4日(月)、7月17日(日)、11月26日(土)、本年2月4日(土)と市内多良崎城跡公園の奥に位置する傾斜地の篠の刈り取りを実施してきました。参加者は毎回3~5名です。急斜面なので、安全ザイルを装着し鎌や鋸で刈り取りました。会員の皆様の参加をお待ちしています。問合せ・黒沢 Tel285-7636



冬の温暖化防止キャンペーン

新年早々1月13日(金)早朝、勝田駅前で恒例となった「冬の地球温暖化防止啓発キャンペーン」を実施しました。「節電にご協力お願いします」、「目指せ一人一日1kgCO₂削減」と書かれたのぼり旗にタスキ姿で、元気に冬の節電と地球温暖化防止を呼びかけました。今回は、地球温暖化防止啓発チラシとホッカイロも一緒にセットして寒い季節に嬉しいプレゼント。皆さんに喜んで受け取っていただけました。高校生やサラリーマンの方が多い時間帯、用意した1000部の配布物を、30分ほどで配り終えました。「温暖化防止お願いします!」、「行ってらっしゃい!」と声をかけて配布するなか、毎回、何人かの方



地球温暖化防止啓発キャンペーン

から「くっくっくさまです!」と声をかけていただき、道行く方からいつも元気をいただきました。みなさん、ありがとうございます。みんなで知恵を出し合いこれからのエネルギーの使い方、暮らし方を考えていきましょう。

かわらちゃん
たなべゆきこ (3)

あ、おいしいの作るぞー

わあ

晩ごはんはパパが作るの。今日はパパのスパニカルカレーだ。

えーっと生ごみは燃やせるごみだったな

あ

これごみは消えるし処理されたごみは有機肥料の原料としてリサイクルできるのよ

生ごみは処理機に入れてね

今年はこの肥料を使って家庭菜園してみよう

ごみも出ないし野菜は旨ついで

一石二鳥だね

※市より生ごみ処理容器の購入助成金ができます。

環境かわら版

ごみのない きれいな街に

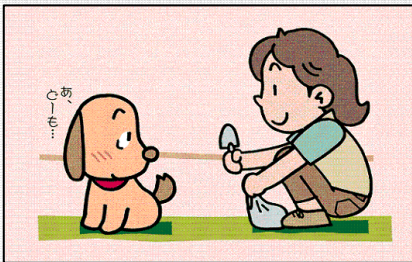
清潔な美しい街づくりを目指し、ごみなどの投げ捨てや犬などのふん放置で街を汚さないようにしましょう。

犬・猫のふん放置がまだ見受けられます。飼い主は周りの方々に迷惑や危害を及ぼさない心配りとしつけが大切です。

●排泄のしつけをしましょう!

散歩中、「ふん」をした時は必ず持ち帰りましょう。

猫は屋内にトイレを設置しましょう。



※犬の「ふん」は、あなたの「ふん」。持ち帰りましょう!



環境講座

環境講座「やっかいな放射線と向き合おう」

昨年12月17日(土)に茨城大学有志の会、中川尚子先生(理学部)による環境講座「やっかいな放射線と向き合おう」を開催しました。

当日は88名の参加があり、放射線の基礎知識、内部被曝、これからの放射線との付き合い方などの講義をしていただきました。

小さいお子さんをお持ちの方からは、「今までは不安ばかりでしたが、今日のお話で今後の行動の仕方や危機管理について勉強できました。」という感想をいただきました。

質疑応答はさんでのグループ討議も活発な意見交換が行われ、今後のエネルギー問題なども話題になりました。



編集室の世間ばなし

A 「寒いですねえ」

B 「これで地球温暖化が終わってくれればいいのに」(笑)

C 「市営墓地の水道が凍結しちゃって連日飛び回っているう〜」

B 「近所の公園では、逆に凍結で水が止まらなくて、市に元栓を止めてもらいましたよ」

D 「寒さが続いていると、やっぱりCO₂が増えそうですね」

E 「そうですね。孫を連れて子どもが帰省したのでエアコンがフル稼働、電気代も急増ですよ。普通は6千円位なのに1万6千円になりましたよ」

F 「地下熱利用パイプを埋め込んで冬は暖房、夏は冷房に利用する家も増えていきますね。我が家はファンヒーター吹き出し口に筒を置いてコタツに熱風を吹き入れて、コタツに電気を使っていないんです」

G 「そうそう、ホームセンターで売っていたファンヒーターの筒を、親戚が買ってきてくれて使ってますよ」



A 「その写真を載せましょう。この情報を前号で伝えたかったですねえ」

編集者だより

「施設見学会に参加して」

田彦中学区地域づくりの会環境部会では、1月27日(金) 22名で勝田環境(RC)事業部と(株)小松製作所茨城工場を見学しました。

勝田環境(株)は、木屑類の処理で細かく破碎されたチップの一部は堆肥原料などに、残りのチップは(株)バイオパワー勝田に供給して、バイオマス発電用燃料として使用し、25キロリットルの原油を削減し37トンのCO₂を削減したことになったそうです。また天ぷら油は、バイオディーゼル燃料(BDF)が製造でき活用が見込まれます。

次に(株)小松製作所は、工場内生産ラインを見学して、溶接されたフレーム・エンジン・タイヤの取り付け作業を見ることができました。安全対策として、ライン毎に責任者の写真と氏名が掲示されておりました。生産品は、主に東南アジア地域に輸出され最大級の製品は約5億円出ることがわかりました。また、石川県小松市が発祥地で、社名を小松製作所にしたそうです。

環境問題は、どこの企業も取り組んでおり、特に、整理・整頓・清潔・清掃・躰(5S)や、ごみの分別など徹底されておりました。私たち市民も見習うことが多く、限りある資源を大切にしようと感じました。

(飯村歳永)